

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

## 病虫害発生予察情報について (予報第2号(6月))

標記について、次のとおり発表します。

### 《6月の病虫害発生予報》

#### <作物>

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
水稲			いもち病 縞葉枯病 (ヒメビウンカ)		
	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)発生に注意				

#### <果樹類>

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
ぶどう			べと病		
			灰色かび病		
			チャノキイロアザミウマ		
もも				クワゴマダラヒトリ	
			シンクイムシ類	せん孔細菌病	
バラ科 果樹	クビアカツヤカミキリ(発生に注意)				
みかん			黒点病		
			カイガラムシ類		
			ミカンハダニ		
果樹類 全般				果樹カメムシ類	

#### <野菜類>

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
なす		すすかび病			
				灰色かび病	
		うどんこ病			
		ミナミキイロアザミウマ			

#### <その他>

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
野菜類・ 花き類			シロイチモジヨトウ		
			ハスモンヨトウ		
			コナガ		
			アブラムシ類		

## 《今月のトピックス》

### ■今後の発生に注意が必要な病害虫

- 【水稲】 スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）
- 【もも】 せん孔細菌病
- 【ぶどう】 べと病、灰色かび病
- 【バラ科果樹】 クビアカツヤカミキリ
- 【果樹類全般】 果樹カメムシ類
- 【なす】 灰色かび病、うどんこ病
- 【野菜類・花き類】 シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類

### 《(参考)6月の気象予報》(大阪管区气象台5月28日発表)

気温	低い（10%）	平年並（20%）	高い（70%）
降水量	少ない（20%）	平年並（40%）	多い（40%）
日照時間	少ない（40%）	平年並（40%）	多い（20%）

(詳細は、一覧表参照)

## A 作物

### 1 水稲

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
いもち病	並	<p><b>【予報の根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の巡回調査では、平年同様発生は少なかった。</li> <li>・6月の降雨量はやや多い、気温は高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>【注意すべき事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植後の余り苗を水田に放置しない。</li> <li>・発生が予想される場合は、田植前に箱施用剤を処理する。</li> </ul> <p><b>【メモ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低温、日照不足の時に発生しやすい。</li> <li>・近年、他府県において QoI 剤（アミスター、嵐、オリブライト、イモチエース等）耐性菌の発生が報告されている。</li> </ul>
縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	並	<p><b>【予報の根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の巡回調査では、平年同様発生は少なかった。</li> </ul> <p><b>【防除上考慮すべき事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植前までに水田、畦畔の除草を行う。</li> <li>・ヒメトビウンカの防除薬剤を施用する。</li> <li>・密植を避けて通風を良好にするとともに、窒素質肥料の過用を避ける。</li> </ul> <p><b>【メモ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本病はヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病である。</li> </ul>
スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）	発生に注意	<p><b>【予報の根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、生息地域が拡大している。</li> </ul> <p><b>【防除上考慮すべき事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水深4cm以下の浅水管理を行う。</li> <li>・桃色の卵塊は水中へ掻き落とし、成貝は拾い取り、処分する。</li> </ul> <p><b>【メモ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植直後から約20日後までの食害による被害が大きい。</li> </ul>

## B 果樹

### 1 ぶどう

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
べと病	並～ やや多い	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・6月の降雨量はやや多い、気温は高いと予想されている。</li><li>・巡回調査では、平年同様に発生は確認されなかった。</li></ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・発病を認めたら、被害葉を速やかに取り除くとともに、初期防除を徹底する。</li></ul> <b>[メモ]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・5月～10月に降雨が続き、気温が低めに経過すると発生が多い。</li></ul>
灰色かび病	並～ やや多い	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・巡回調査では、平年同様に発生は確認されなかった。</li><li>・6月の気温は高く、降水量はやや多いと予想されている。</li></ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ハウス栽培では換気やマルチを行い、湿度を下げる。</li><li>・落花直後の花かすを取り除く。</li></ul> <b>[メモ]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・多湿条件で発生が多い。</li></ul>
チャノキイロ アザミウマ	並	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・巡回調査では、発生は平年並であった。</li></ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li></ul> <b>[メモ]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・大粒系品種では果実の傷や果軸の褐変が起こりやすい</li></ul>

### 2 もも

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
せん孔細菌病	やや多い	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・6月の降水量はやや多いと予想されている。</li></ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・伝染源となる葉、枝、果実を除去し、適切に処分する。</li><li>・薬剤防除は多発してからでは効果が劣るため、早めの予防散布を心がける。降雨前が効果的。</li><li>・降雨前に袋かけを行い、雨滴による感染を防止する。</li><li>・風当たりの強い園地では、防風ネット等を設置する。</li></ul>
シンクイムシ 類	並	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・5月のフェロモントラップ誘殺数は、平年並であった。</li></ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・被害果や被害枝は、ほ場外に持ち出し処分する。</li></ul>

### 3 みかん

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
黒点病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。</li> <li>・6月の降雨量は平年よりやや多いと予想されている。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝染源となる枯枝は除去し、適切に除去する。</li> </ul>
カイガラムシ類	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年同様少なかった。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生の多い園地では、防除を徹底する。</li> </ul>
ミカンハダニ	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年同様少なかった。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生の多い園地では、防除を徹底する。</li> </ul>

### 4 果樹全般

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
果樹カメムシ類	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月のフェロモントラップによる誘殺虫数は、平年よりやや多かった。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園地により飛来量は大きく異なる可能性があるため、園内を見回り発生及び被害状況を確認する。発生が見られる場合は速やかに薬剤防除を実施する。</li> </ul>

## C 野菜類

### 1 なす

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
すすかび病	やや少ない～並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。</li> <li>・6月の降水量はやや多く、6月の日照時間は平年よりやや少ないと予想されている。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。(QoI 剤(アミスター、ストロビー、シグナム)、SDHI 剤(アフェット、カンタス、シグナム)は、薬剤耐性菌を生じやすいので、1作1回程度の使用にとどめる。)</li> </ul> <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主にハウス栽培で発生する。ハウス内温度が23～28℃位で、多湿条件下で発生が多い。曇雨天が続く、換気が不十分だと発生しやすい。</li> </ul>
灰色かび病	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年並みであった。</li> <li>・防除協力員より一部地域で平年より発生が多いと報告がある。</li> <li>・6月の降水量はやや多く、日照時間は平年よりやや少ないと予想されている。</li> </ul>

		<p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果実に付着した花卉からの感染が多いので花卉の除去に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul> <p><b>[メモ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灰色かび病は20℃程度、多湿、日照不足で発生が多くなる。</li> <li>・QoI 剤（シグナム）、SDHI 剤（アフェット、カンタス、シグナム）は、薬剤耐性菌を生じやすいので、1作1回程度の使用にとどめる。</li> </ul>
うどんこ病	やや少ない	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。</li> <li>・6月の気温は高く、日照時間はやや少ないと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密植を避け、過繁茂にならないよう摘心・摘葉をこまめに行う。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul> <p><b>[メモ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うどんこ病は日照不足、高温乾燥条件下で多発する。</li> <li>・QoI 剤（アミスター、ストロビー）、SDHI 剤（アフェット）は、薬剤耐性菌を生じやすいので、1作1回程度の使用にとどめる。</li> </ul>
ミナミキイロアザミウマ	やや少ない～並	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。</li> <li>・6月の気温は高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの薬剤で感受性が低下しており、発生が増えると防除が困難である。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> <li>・葉の被害に注意し、少発生時の防除を徹底する。</li> <li>・ハウス栽培では、開口部を0.8mm目合いの赤色ネットで被覆し、成虫の侵入を防止する。</li> <li>・露地栽培では、天敵昆虫の温存を図るため、ソルゴー囲い込み栽培などを行う。</li> </ul>

#### D 野菜類・花き類

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
シロイチモジヨトウ	並～やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップへの誘殺虫数は平年並～やや多かった。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期（若齢幼虫期）に防除を徹底する。卵塊や集団でいる幼虫の除去に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul>
ハスモンヨトウ	並	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップへの誘殺虫数は平年並であった。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期（若齢幼虫期）に防除を徹底する。卵塊や集団でいる幼虫の除去に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul>

コナガ	並～やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップの誘殺虫数は平年並～やや多かった。</li> <li>・予察灯での誘殺虫数は、平年並～やや多かった。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期に防除を行う。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。特にジアミド系薬剤の連用は避ける。</li> </ul>
アブラムシ類	並～やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年並であった。</li> <li>・黄色水盤による誘殺虫数は平年並～やや多かった。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設栽培では、開口部を <b>0.8mm</b> 以下のネットで被覆し、成虫の飛来を防止する。</li> <li>・ほ場周辺の除草に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul> <p><b>[メモ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アブラムシ類が媒介するウイルス病には、キュウリモザイクウイルス (<b>CMV</b>) などがある。</li> <li>・ウイルス病が発病した株は、まん延防止のため、抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。</li> </ul>

●大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ・ホームページ  
(平成 23 年 4 月 1 日より大阪府病害虫防除所から組織名変更)

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>

防除指針を掲載しています。

●病害虫発生情報メールサービス

申込先 大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ・メールサービス担当  
TEL 072-957-0520

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/mailservice/mail servicemousikomi.html>

<情報料無料、受信に要する通信費は自己負担です>

年間約 15 件の病害虫情報を電子メールで送付します。

●おおさかアグリメール

申込先 大阪府立環境農林水産総合研究所  
企画部 企画グループ おおさかアグリメール受付担当

TEL 072-979-7070

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>

最新の農業情報をあなたの携帯電話にお届けします。

<情報料無料、受信に要する通信費は自己負担です>

●Web版大阪府園芸植物病害虫図鑑

「ひと目でわかる花と野菜の病害虫」

<http://osaka-ppa.jp/zukan/index.php>

(大阪府植物防疫協会)